百姓一揆と打ちこわし

〈農村〉 領主による年貢の取り立てや商品作物の安い買い上げにより、生活に苦しむ百姓が増える。

↓

生活難の百姓たちが団結して訴えをおこす

百姓一揆

〈都市〉 ききんや米の買い占めなどで、米の価格が高騰すると、貧しい人々は米屋や大商人を集団で襲った。

↓

打ちこわし

※ 農作物の不作などで人々が飢え苦しむことを、ききんという。

江戸時代の3大ききん

- 享保のききん
- ↓
- 天明のききん ☆
- ↓
- 天保のききん

☆ とくに天明のききんはひどく、90万人以上の人が飢え死にしたと言われています。
打ちこわしも天明の打ちこわしが特に大きかった。